

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U)

平4-20857

⑬ Int. Cl.⁵

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成4年(1992)2月21日

B 60 R 21/24

7149-3D

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

⑮ 考案の名称 エアバッグ装置

⑯ 実 願 平2-62342

⑰ 出 願 平2(1990)6月13日

⑱ 考 案 者 鈴 木 英 之 愛知県丹羽郡大口町大字豊田字野田1番地 株式会社東海
理化電機製作所内

⑲ 出 願 人 株式会社東海理化電機 愛知県丹羽郡大口町大字豊田字野田1番地
製作所

⑳ 代 理 人 弁理士 中 島 淳 外2名

㉑ 実用新案登録請求の範囲

バッグにインフレーターが連通されて車両急減速時にインフレータの作動で圧縮ガスによつてバッグが膨張されるエアバッグ装置であつて、バッグの内外が連通されバッグ膨張後の収縮によつてエネルギーを吸収するためのベントホールと、前記バッグ内方に設けられバッグの内方空間を前記ベントホールを含みかつインフレーターと連通された第1の空間と前記ベントホールを含まない第2の空間とに仕切る仕切部材と、仕切部材に設けられ圧縮ガスの前記第2の空間から第1の空間への流れ

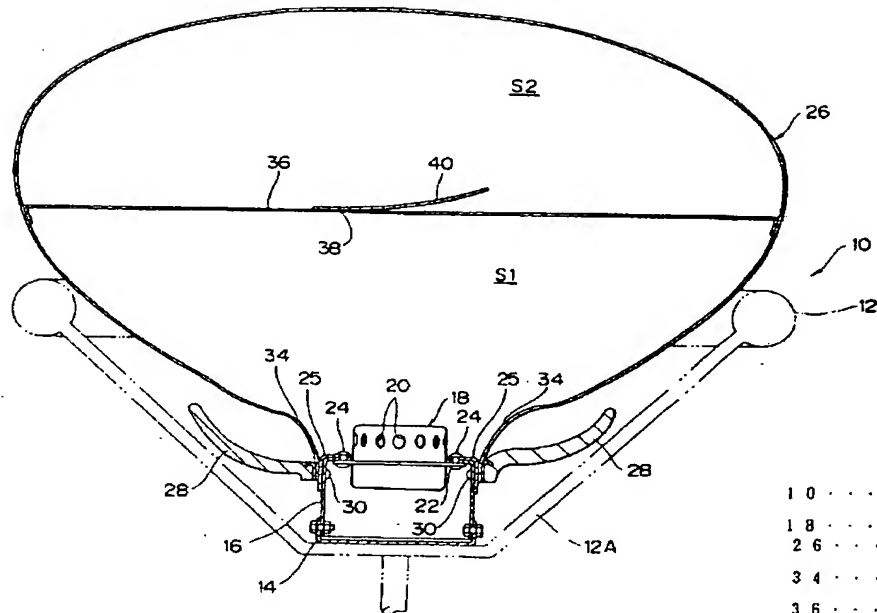
を制限する弁と、を有するエアバッグ装置。

図面の簡単な説明

第1図は本実施例に係るエアバッグの作動状態を示す断面図、第2図はエアバッグの収容状態を示す断面図、第3図は最初の急減速状態のエネルギー吸収後のバッグの状態を示す断面図である。

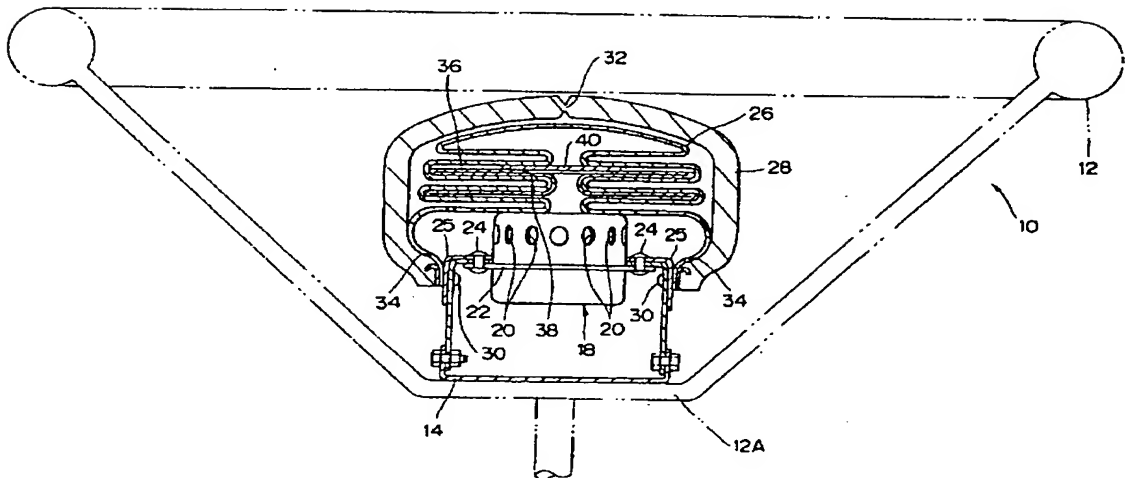
10……エアバッグ装置、18……インフレーター、26……バッグ、34……ベントホール、36……仕切部材、38……貫通孔、40……弁、S1……第1の空間、S2……第2の空間。

第 1 図



- 10・・・エアバッグ装置、
- 18・・・インフレーター、
- 26・・・バッグ、
- 34・・・ベントホール、
- 36・・・仕切部材、
- 38・・・貫通孔、
- 40・・・弁、
- S1・・・第1の空間、
- S2・・・第2の空間、

第 2 図



第 3 図

